

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.62

2024 3月 - 5月

2024 3/10 発行

TAKE FREE

Sinfonia

シンフォニア

Sumao Goko

# 熱狂 2024 コンチェルト

Yukio Yokoyama

Gen Yokosaka

Close Up

シャルル・リシャール＝アムラン ピアノリサイタル

熱狂コンチェルト2024 郷古 廉インタビュー

The Symphony Hall BigBand Vol.23 ～ディスコ2～  
古澤 巖インタビュー

ほか

- 2 シャルル・リシャール＝アムラン ピアノリサイタル
- 4 オールバッハ名曲選 真夏のオルガンコンサート2024  
ウィリアム・フィールドینگ インタビュー
- 6 関西フィルハーモニー管弦楽団 第10回親子定期演奏会  
第5弾 夏休み「自由研究は、これで決まり!〜音楽でたどる万国博覧会〜」
- 7 プラス de アニメ by The Symphony Hall Super Brass  
プラス de シネマ by The Symphony Hall Super Brass
- 8 ライト・シンフォニックコンサート 〜大人の贅沢〜
- 9 イル・ヴォーロ ジャパン・ツアー2024 LIVE IN CONCERT
- 10 熱狂コンチェルト2024 郷古 廉インタビュー
- 12 ライト・シンフォニックコンサート 〜大人の癒し〜 江原啓之インタビュー
- 14 The Symphony Hall BigBand Vol.23 〜ディスコ2〜  
古澤 巖インタビュー
- 16 プロジェクションマッピング×パイプオルガン  
超絶のタイタニック この夏もパイプオルガンがスゴ過ぎる!!
- 17 0歳児からの「光と映像で楽しむオーケストラ」 Vol.19
- 18 山形交響楽団 さくらんぼコンサート2024 大阪公演  
Osaka Shion Wind Orchestra 第154回定期演奏会
- 19 小味渕彦之「こみちゃんの温故知シン」vol.8
- 20 関西4オケ Pick Up コンサート
- 22 ABCテレビ主催公演:イベント情報
- 26 日本センチュリー交響楽団
- 28 交響楽団ひびき 第20回定期演奏会  
第73回 東西四大学合唱演奏会
- 29 堀江政生のシンフォニア・アワー vol.62
- 30 ホールトピックス
- 31 Concert Calendar 2024.3~2024.5

3月のSinfonia会員先行予約について

Sinfonia会員先行予約を開始する3月21日(木)~3月27日(水)の期間は「お電話」と「窓口」の営業を10:00~18:00とさせていただきます。この期間以外の営業時間は、お電話・窓口ともに11:00~16:00となります。※火曜定休

※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。

※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。

●電話:ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休)

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、営業時間が変更となる場合がございます。詳細はホームページをご確認ください。

●WEB:<https://www.symphoniahall.jp/>

登録費  
年会費  
無料!

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メルマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからのご登録

ザ・シンフォニーホール ホームページ  
<https://www.symphoniahall.jp/> からご登録下さい。

▼ ハガキでのご登録

定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。

【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス(メルマガジン受取りの場合)

【定型ハガキ表】531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3  
ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係

※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。【@symphoniahall.jp】をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様から提供いただいた個人情報については、個人情報に関する法令、規範に則り適正に管理いたします。○お客様からいただいた個人情報、以下の目的のみに使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1)シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送(2)ザ・シンフォニーホールで開催する催事をご案内する印刷物の発送(3)ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡(4)ザ・シンフォニーホールの事業、サービス等の開発・改善を目的とした調査・研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積(5)チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡(6)施設利用に関するご案内の発送○個人情報の発送・個人情報はご自身の意でご本人様が行うものとなります。○お客様の個人情報を、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報安全に管理されるよう適切に監督します。

●表紙「熱狂コンチェルト2024」  
横山幸雄©ZIGEN/横坂 源©Takashi Okamoto/郷古 廉©Hisao Suzuki

# The Symphony Hall

## BREAKING News

### 大和証券グループ Presents

Alain Altinoglu

指揮 アラン・アルティノグル

Bruce Liu

ピアノ ブルース・リウ

©PhotoWerk

©Yanzhang

2024 10/16 (水)  
7:00PM 開演

# 世界の巨匠とともに 2024

お楽しみに！  
詳細は、次号シンフォニア63号で発表!!

Gerhard Oppitz

指揮 フランソワ＝グザヴィエ・ロト

ピアノ ゲルハルト・オピッツ

©HT/PCM

2024 11/2 (土)  
2:00PM 開演

François-Xavier Roth

ヴァイオリン 諏訪内晶子

Akiko Suwanai

©Kiyotaka Saito

2025 2/11 (火・祝)  
3:00PM 開演



# シャルル・リシャール＝アムラン

Charles Richard-Hannelin ピアノ・リサイタル

ピアニストの誠実さが伝わる  
プログラムで、  
今のリシャール＝アムランを聴く



シヨパンコンクール入賞から9年、  
さらに深まってゆく音楽

1989年、カナダ、ケベック州生まれのピアニスト、シャルル・リシャール＝アムラン。4歳の頃父の手ほどきでピアノを始めたという彼は、17歳でピアノに真の情を注ぐようになり、26歳だった2015年、シヨパン国際ピアノコンクールで第2位に入賞。一躍世界の音楽ファンから注目される存在となった。以来、ザ・シンフォニーホールでは来日のたびにリサイタルを行い、毎回チケットが完売となる人気を集めている。まろやかな音色と、静かな情熱を感じる表現が魅力のピアニストで、心穏やかに音楽に没頭する時間をくれる。

コンクールからすでに9年の年月が流れた今、今度の日本でのリサイタルで彼が取り上げるのは、ベートーヴェンとシヨパンという、ピアニストにとって最も重要といえる作曲家たちを組み合わせたプログラムだ。

広い視野から捉えたベートーヴェンに期待

ベートーヴェンから取り上げるのは、op. 27としてまとめられた二つのピアノ・ソナタ。彼はすでに、アンドリュウ・ワンとの共演によるベートーヴェンのヴァイオリンソナタ全曲録音をリリースしている

ので、広い視野から捉えたベートーヴェン像を持っていることだろう。演目のうち、特に第14番op. 27・2は「月光」として広く親しまれ、単独でよく取り上げられる。この呼称は詩人のレルシュタープによる「ルツェルン湖の月光の波に揺れる小舟のよう」という形容に由来し、ベートーヴェン本人がつけたものではない。多くの人が月光を思い浮かべて聴くだろうが、そのイメージから解放されたほうがいいという考えもある。

そうした背景を踏まえると、今回リシャール＝アムランが、もともとベートーヴェンが2曲をあわせて「幻想風ソナタ」と名付けた第13番、第14番op. 27をあわせて選んだことには、なにか意図があるのだろうと感ぜられる。ベートーヴェンが本来この作品に託したファンタジーを、しっかりと浮かび上がらせてくれるのかもしれない。

シヨパンがワルツに託したもの

一方のシヨパンは、協奏曲風の作品として書かれた楽曲で、華や

かながらあまり演奏される機会のない「演奏会用アレグロ」で始まる。それに続くのは、op. 34というシヨパンが20代半ばの頃の楽曲から、広く親しまれる「小犬のワルツ」を含むop. 64の晩年の楽曲まで、多様なキャラクターのワルツを組み合わせたプログラムだ。

シヨパンがワルツという音楽に託したものの変化、長調と短調のワルツの情緒の大きな違いなど、繊細な感性を持った作曲家ならではのワルツの魅力が存分に伝わる選曲といえる。今、こうしてワルツを集めて披露することの意図も、実演を聴けばわかることだろう。

開かれた感性を持ち、誠実に作曲家と向き合うピアニスト

シヨパンコンクールへの入賞以降、シヨパンを弾く機会が増え、この作曲家に「より絶対的な畏敬の念を抱くようになった」というリシャール＝アムラン。また、シヨパンの演奏にとって重要なのはフランスで「古典的で論理的な世界と、移り気で幻想的な世界の間の、はかない線上を歩いてこそ、最高の演奏になる」とも話す。シヨパンの魅力を的確に捉えた表現で、彼がいかにこの作曲家に寄り添った心を持っているかが伝わってくる。ちなみに彼は、クラシック奏者として正統的なアプローチの演奏を聴かせる存在でありながら、

## 【ピアノ】シャルル・リシャール＝アムラン

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第13番 変ホ長調 op.27-1 / ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 op.27-2 「月光」

シヨパン：演奏会用アレグロ 長調 op.46 / ワルツ 第14番 小短調（遺作） / ワルツ 第3番 短調 op.34-2 / ワルツ 第4番 長調 op.34-3 「華麗なるワルツ」 / ワルツ 第12番 短調 op.70-2 / ワルツ 第6番 変ニ長調 op.64-1 「小犬のワルツ」 / ワルツ 第7番 嬰ハ短調 op.64-2 / ワルツ 第8番 変イ長調 op.64-3 / ワルツ 第5番 変イ長調 op.42

2024.9/16（月・祝）2:00PM

全席指定 6,000円（税込）

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：3/21（木）一般発売：3/24（日）

普段はジャズやプログレッシヴ・ロックも愛聴しているそうで、現代に生きる開かれた感性も持ち合わせた演奏家という一面もある。彼のシヨパンといえば、シヨパンコンクールの会場で初めて聴いたあたたく包容力のある表現が印象に残る。そこから年齢を重ね、濃密に作曲家と向き合う時間も過ごし、いつそう深い部分まで掘り下げたシヨパンを私たちに伝えてくれるのではないだろうか。演奏を聞けば、ピアニストの音楽への誠実さが伝わってきそうなプログラム。大いに期待しよう。

（文 高坂はる香）

オールバッハ名曲選

## 真夏のオルガンコンサート

ALL ORGAN CONCERT

ALL

イギリス出身の俊英オルガニスト、ウィリアム・フィールディングが奏でるフレッシュな魅力あふれるオールバッハのプログラム。

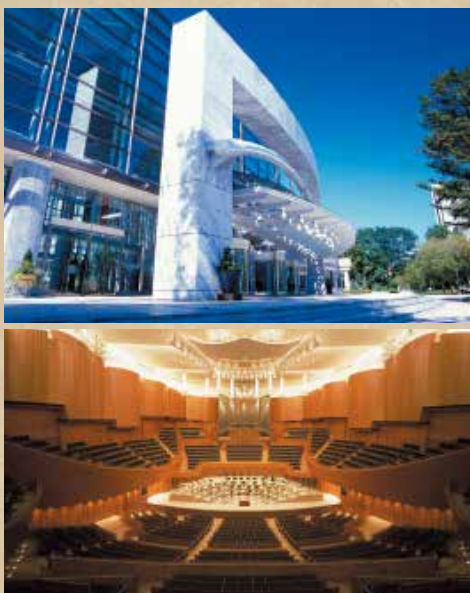
オルガンの魅力は音色の多彩さ。どの楽器にもドラマがあり、新しい発見があります。

——音楽やオルガンとの出会いからお聞かせください。

両親がクラシック音楽が大好きで、とくに父がオルガン音楽をよく聴いているという環境で育ちました。また、5歳から14歳くらいまで、地元の教会で合唱団に入っていたので、自然にオルガン音楽に興味を持つようになりました。

——最初はピアノを習い始めたのでしょうか？

4歳からピアノを始め、10歳くらいから本格的に学ぶようになりました。



札幌コンサートホール Kitara

1997年オープンの本格的な音楽専用ホール。その音響の素晴らしさは世界屈指と言われる。アリーナ型の大ホールには、北海道の雄大な大地と針葉樹林をイメージしてデザインしたパイプオルガンがある。

——オルガンの魅力とは？

やはり音色の多彩さですね。1台として同じオルガンはありません。ヨーロッパ各地に行きましたが、いつもまったく違ういろいろなオルガンに出会うことができました。たとえば、私がバリーで学ぶ前に留学して

ました。パイプオルガンを弾くようになったのは、15歳からです。10代の頃は、チェロやトランペットも習っていました。今はオルガンに集中してキャリアを築いていこうと考えていますが、実は3、4年くらい前まで、オルガニスト、ピアニスト、どちらの道に進むべきか、少し葛藤がありました。

——オルガンの魅力とは？

やはり音色の多彩さですね。1台として同じオルガンはありません。ヨーロッパ各地に行きましたが、いつもまったく違ういろいろなオルガンに出会うことができました。たとえば、私がバリーで学ぶ前に留学して

バッハの様々なスタイルの作品の魅力を、オルガンから最大限に引き出したい。

——2023年9月から札幌コンサートホールKitaraの第24代専属オルガニストとして活動されています。

日本には来たことがなかったのですが、道路の標識やお店の看板など、何もかも見慣れないものばかりで、最初の頃は遠い国に来たのだなと驚くことばかりでした笑。今は生活にも慣れ、美しい自然に囲まれた場所でも音楽に向き合う日々幸せを感じています。Kitaraのホールは、オルガンも音響も素晴らしい、バッハからチャルムリー・

ヴィドールまで、様々なスタイルのオルガン音楽を聴衆の方たちに楽しんでいたただけならいいなと思っています。

——ザ・シンフォニーホールのシンボルとなっているスイス・クーン社製のパイプオルガンで奏でるバッハのプログラムに期待が高まります。

バッハの作品の多彩な魅力を、オルガンという楽器から最大限に引き出したいと考えたプログラムです。コラール前奏曲、トリオ・ソナタ、フーガ、管弦楽のオルガン独奏用の編曲作品など、様々なスタイルの作品を集めてみました。ストップ（パイプの音色）のリストを見ながら、どんな音色がホールに響くのだろうと想像しています。オルガンは触ってみるまでわからない楽器なので、あまりアイディアを固めず、新しい響きに出会うことを楽しみにしています。

——大阪で行ってみたいところ、食べたいものはありますか？

実は、すでにリストアップしているんですよ笑。ローカルフードのお好み焼き、タコ焼きは絶対に食べてみたいです。大阪城や歴史博物館にも行きたいです。それから、ちよつと足を延ばして箕面公園や和歌山の高野山にも行ってみたいです。私は山歩きが大好き

[オルガン]ウィリアム・フィールディング  
(第24代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

J.S.バッハ: オルガン協奏曲 イ短調 BWV593より 第1楽章、管弦楽組曲 第3番 BWV1068よりアリア (G線上のアリア) / A.イザワール編、いと高きところの神にのみ栄光あれ BWV663、おお人よ、汝の大いなる罪を嘆け BWV622、トリオ《いと高きところの神にのみ栄光あれ》BWV664、フーガ《ジーク風》ト長調 BWV577、目覚めよと呼ぶ声あり BWV645、フーガ《小フーガ》ト短調 BWV578、カンタータ 第147番より コラール「主よ、人の望みの喜びよ」トリオ・ソナタ 第6番 BWV530より 第1楽章 ヴィヴァーチェ ほか

2024. 8/24 (土) 7:00PM ※休憩なし。60分間のコンサートです。  
全席指定 3,000円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行: 3/21 (木) 一般発売: 3/24 (日)

——大阪のお客様へのメッセージをお願いします。

オルガンは楽器の王様、バッハは作曲家の王様、その2つの組み合わせは最高だと思います。ぜひ聴きにいらしてください！

(取材文 森岡 葉)

Interview

「オルガン」  
ウィリアム・  
フィールディング  
第24代札幌コンサートホール  
専属オルガニスト

©Hiroharu Takeda



**The Symphony Hall** ザ・シンフォニーホール スーパープラス

# Super Brass

Shid! × The Symphony Hall

5月と7月の2公演をお楽しみに!!

**プラス de アニメ** 5/3 (金・祝)

**プラス de シネマ** 7/30 (火)

【指揮】喜多弘悦

5月はアニメ・7月はシネマ! お子様に音楽のプレゼントはいかが?

『ザ・シンフォニーホール スーパープラス』は、オオサカ・シオン・ウィンド・オーケストラのメンバーと関西で活躍する精鋭メンバーが集結。そのハイクオリティなブラスサウンドと共に、コンサートホールとしては異例ともいえる、プロジェクト・シモンマッピングの映像美が繰り広げるファンタジックなステージで人気絶好調! 指揮者喜多弘悦は軽妙なお話で聴衆を魅了しながら、めっちゃ楽しい音楽をモットーに、どの世代にも愛される唯一無二のブラスサウンドを追求し続けています。

こどもの日に近い5月3日は『プラス de アニメ』と題し、新旧名作アニメのテーマ曲の数々をお届けします。中でも「推しの子」のアイドルを、プラス版にどのようなアレンジが成されるか、乞うご期待!

夏休みの7月30日は『プラス de シネマ』と題し、名作映画の数々をお届けします。音楽を聴けば、その頃の思い出が蘇ります。懐かしい音楽と共に、あの頃の余韻に浸ってみませんか?

4歳から入場できるこのシリーズは、大人も子供も一緒に楽しめる、とおきのコンサートと言えるでしょう。こどもの日、そして夏休み、お子さんやお孫さんにめっちゃ楽しい音楽のプレゼントはいかが? そして、是非あなたも異空間のザ・シンフォニーホールを体感しに来てください!

**プラス de アニメ** 【指揮】喜多弘悦  
【演奏】The Symphony Hall Super Brass

「推しの子」～アイドル～/SPY×FAMILY～ミックスナッツ～/「鬼滅の刃」メドレー/「新世紀エヴァンゲリオン」メドレー/「となりのトトロ」～コンサート・バンドのためのセレクション～/組曲「宇宙戦艦ヤマト」/「ルパン三世」メドレー ほか

**2024. 5/3 (金・祝) 3:00PM**  
S 6,600円 (高校生以下 3,300円) A 4,400円

※4歳のお子様からご入場いただけます  
※プロジェクト・シモンマッピング付き  
【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中

**プラス de シネマ** 【指揮】喜多弘悦  
【演奏】The Symphony Hall Super Brass

「スーパーマン」/「E.T.」～アドベンチャー・オン・アース～/「ジュラシック・パーク」～サウンド・トラック・ハイライト～/交響組曲「ハリー・ポッターと賢者の石」/「ニュー・シネマ・パラダイス」/「スパイ大作戦」のテーマ ほか

**2024. 7/30 (火) 7:00PM**  
S 6,600円 (高校生以下 3,300円) A 4,400円

※4歳のお子様からご入場いただけます  
※プロジェクト・シモンマッピング付き  
【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
【主催】ザ・シンフォニーホール  
シンフォニア会員先行: 3/21 (木) 一般発売: 3/24 (日)



**第5弾 夏休み 自由研究** 関西フィル 第10回親子定期演奏会

は、これで決まり!!

**音楽でたどる万国博覧会**

夏休みの自由研究のテーマにぴったり!!

来場者全員に  
自由研究にそのまま使える  
"研究シート"を  
**プレゼント!**

※画像は昨年の研究シートです。

**研究ポイント**

- ① 国の違いを音楽で感じてみよう
- ② 好きな楽器を見つけてみよう
- ③ 指揮者ってどんな仕事?!

【指揮】藤岡幸夫

今年、2025年開催の大阪・関西万博を見据えたテーマと選曲! 少しずつ近づく夏休みのおすめ公演をご紹介します。毎年親子で悩む自由研究のテーマと、研究の観察部分を1日で解決する「関西フィル親子定期演奏会」だ!

当初は、就学前の4歳児から家族と一緒にクラシックを楽しめる公演として始まり、2019年から、夏休みの自由研究向けの音楽を楽しみながら学べる現在の形へと発展した。

その大人気シリーズで毎年演奏するのは、藤岡幸夫が指揮する関西フィル。2007年から同フィルの首席指揮者に就任し、クラシックの普及を意識した企画を多彩にプロデュースする名匠だ。

今回のテーマは、「音楽でたどる万国博覧会」。2025年に大阪・関西万博の開催が控えることもあり、来場に向けた予習を兼ねられるのも嬉しい。

今回はまた、研究をより深く整理できるように3つの研究ポイントも提示。

1つ目は「国の違いを音楽で感じよう」で、例えば、Jシネトラウス「観光列車」、アンダーソン「シンコペイテッド・クロック」、外山雄三「管弦楽のためのラプソディ」の聴き比べ。オーストリア、アメリカ、日本と大陸の異なる音楽文化の違いがよくわかるはずだ。

【指揮】藤岡幸夫 【司会】空井仁美  
【管弦楽】関西フィルハーモニー管弦楽団

シュトラウスⅡ: ボルカ「観光列車」op.281/ドビュッシー(ビュッセル編): 「小組曲」より「バレエ」/ビゼー: 歌劇「カルメン」より「間奏曲」/モンティ: チャルダッシュ/エルガー: 「エニグマ変奏曲」より「ニムロッド」/ドヴォルザーク: 交響曲 第8番 第4楽章/ニールセン: 組曲「アラジン」より「祝祭行進曲」/アンダーソン: シンコペイテッド・クロック/ピアソラ: オブリヴィオン/朝鮮民謡: アリラン/外山雄三: 管弦楽のためのラプソディ

**2024. 8/4 (日) 2:00PM** 全席指定 4,000円 (税込)

※4歳以上のお子様から入場可能です。  
【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
【主催】公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団/ザ・シンフォニーホール  
シンフォニア会員先行: 3/21 (木) 一般発売: 3/24 (日)

2つ目は「好きな楽器を見つけてみよう」。今回は、ヴァイオリン独奏の技巧が光る「チャルダッシュ」や、トランペットが歌い上げる、タンゴの革新者ピアソラの名曲「オブリヴィオン」など、楽器の個性が際立つ作品が多いので、ぜひご注目。

3つ目は「指揮者ってどんな仕事?」。これは藤岡のしなやかな情熱的な指揮姿や、演奏台間の軽妙なトークで存分に明らかにするのでお楽しみに。

そして今回も、演奏中に学んだことをそのまま自由研究として提出できる「研究シート」を来場者全員にプレゼント。困難だった自由研究を楽々と完成させよう!!

(文 渡辺謙太郎)



© 飯島隆

## 大人の贅沢

## 森崎ウィンを迎えて

この冊子を手にされる程の音楽ファンの貴方なら、きっと「ボストン・ポップスオーケストラ(B.P.O.)」という名称を聞いたことがあるでしょう。ボストン交響楽団が市民の皆さんに、気軽に超一流のエンタテイメントを楽しんで頂けるようにとスタート。以来その歴史は130年を優に超えます。会場のシンフォニーホールは椅子席が取り払われ、丸テーブルに座ったお客様はビールやワインそして軽食を愉しみながら、100人ももの大編成オーケストラを聞きます。その様は、さながらオーケストラによるディナーショー!。

私がB.P.O.を聞き始めたのは1985年のこと。巨匠ジョン・

編曲・指揮 藤野浩一



ウィリアムスが監督を務めていたこともあり、毎年5月中旬から7月4日の独立記念日まで、週に5日、計30本に及ぶコンサートを開催するという大人気イベントでした。おじいちゃんおばあちゃんは「テレビに出て、あの歌手が来るよ!」「美味しいパンチとサンドイッチをご馳走するからね!」と孫たちを誘います。眼の前でジョン・ウィリアムスが振り、有名歌手が聞き馴染みの曲を歌っているのですから、そんな環境でオーケストラ音楽のインシエーションを受けた子供たちがクラシック嫌いになる筈もなく、理想的な形でボストン交響楽団の未来のお客様として育てて行きます。何とか日本でもB.P.O.の様なコンサートが出来ないものかと、私のオケ仕事は始まりました。大阪交響楽団はもちろん、素晴らしいゲスト歌手やスタジオリュミエーションのパフォーマンスにどうぞご期待ください。

今回のゲストは森崎ウィンさん。2020年にテレビの音楽番組で顔を合わせ、それ以来収録やコンサートを重ねてきました。彼を見ていていつも思うのは「とても忙しくしている筈なのに、準備に一体どれほどの時間を費やしてきたのだらう?」ということ。きっと自身に課すハードルの高い人だと思ふのです。「ウィンさんなら、いつかラス

ベガスでワンマン・コンサートがやるよ!」と語り続け、今回このコンサートをやりにあたり彼に届けたお題は「もしもウィンさんが『森崎ウィン』をプロデュースするとしたら?」でした。ネタバレと云われてしましますので敢えてここには曲名を書きませんが、彼の幅広いレパートリーやセンスを、私も皆さんと共に味わいたいと思います。日本に居ながらにしてB.P.O.のサウンドと雰囲気をお楽しみ頂ける、このライト・シンフォニック・コンサート。ぜひ会場でお会いしましょう。

(文 藤野浩一〔編曲・指揮〕)

[編曲・指揮] 藤野浩一 [ゲスト] 森崎ウィン、つづらのあつし

[管弦楽] 大阪響ポップスオーケストラ

煙が目にしみる／ハリウッド万歳／アルフィー／ミッション・インポッシブル  
ミッシェル・ルグラン：シェルの雨傘／藤野浩一編：ストリップの名曲メ  
ドレー／サム・テイラー：ハーレム・ノクターン／藤野浩一編：飲み過ぎメドレー  
森崎ウィン：Dear、Move Out、My Place、Your Place ほか

※曲目はやむを得ない事情により変更になる場合がございます。

2024.8/24(土) 2:00PM

全席指定 SS 10,000円 S 8,000円 A 6,000円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] 公益社団法人 大阪交響楽団／ザ・シンフォニーホール

先行予約：3/21(木) 一般発売：3/24(日)

かのドミンゴを  
震撼させた圧巻の歌唱力。

Ignazio Boschetto  
イニャツィオ・ボスケット

Gianluca Ginoble  
ジャンルカ・ジノーブレ

# IL VOLO

## イル・ヴォーロ

### ジャパン・ツアー2024

Piero Barone  
ピエロ・パローネ

# LIVE

## IN CONCERT

歌声を"翼"に世界へ"飛翔"する新世代の「三大テノール」、待望の来日公演

「僕たちが3人でオー・ソーレ・ミオを歌ったのを、アメリカにいたイタリアの往年の歌手で、プロデューサーを

を遂げるきっかけになる。

この3人がテレビ番組に出場したこと  
が、彼らの運命の出会いとなった。  
プロデューサーが、当時最も有名な三  
大テノール（バヴァロッティ、ドミンゴ、  
カレラス）の再来を期してオー・ソーレ・  
ミオを歌わせたと、大反響を呼ん  
だ。そしてそれが、さらなる大きな飛躍  
を遂げるきっかけになる。

「イタリア国営放送局が土曜に放送

していた番組で子ども歌合戦があつ  
て、その時のプロデューサーが、それぞ  
れソロで参加していた僕たち3人で一  
緒に歌ってみたいかと提案し、トリオ  
で『オー・ソーレ・ミオ』を歌うことにな  
ったのが初めての出会いでした」

とれたハーモニーを聴かせてくれる。

2009年、テレビのプロデュー  
サーの思いつきから誕生した、イタリ  
ア人3名による男声ユニット『イル・  
ヴォーロ』。ピエロ・パローネとイニャ  
ツィオ・ボスケットがテノール、ジャン  
ルカ・ジノーブレがバリトンで、ソロも  
歌うが、3人が揃うと、なんとも調和の  
とれたハーモニーを聴かせてくれる。



2017年には初来日が実現した。  
「日本は想像していた以上に素晴らしい  
国で、僕たちはすぐに日本が大好き  
になりました」と3人は声を揃える。  
「僕たちはいつも日本のことを話しま  
す。日本の皆さんがベルカント（美しい  
響きの声）をいかに愛しているか、僕た

「マエストロ・ドミンゴには感謝の気  
持ちでいっぱいです。彼が僕たちを応  
援し支えてくれたことは、僕たちがプ  
ロの歌手として成長するための大きな  
助けになりました。マエストロから受  
けた教えは、大切な思い出としていつ  
でも僕たちの心にあります」とピエロ  
は目を輝かせる。

2013年からイタリア各地とヨー  
ロッパでのコンサートツアーが始まり、  
2015年のサンレモ音楽祭では、オ  
リジナル曲『グラランデ・アモーレ』を  
歌って優勝。2016年には憧れだつ  
た三大テノールの一人、偉大なるブラ  
シド・ドミンゴ氏と共演するという夢  
をかなえた。

していたトニー・レニス氏がテレビで観  
ていたんです。それでアメリカでデ  
ビューすることになったんです。」

4月には4度目の日本ツアーが実現。  
「日本でのコンサートが待ち遠しくて  
たまりません。日本でコンサートがで  
きることは僕たちにとって最高に幸せ  
なことです。なぜなら僕たちは、日本の  
文化をこよなく愛しているからです。  
コンサートは素晴らしいサブライズに  
満ちていますよ」

イル・ヴォーロ IL VOLO JAPAN TOUR 2024 LIVE IN CONCERT [大阪公演]

[指揮] マルチェロ・ロータ [演奏] 大阪交響楽団

「オ・ソーレ・ミオ」/「星は光りぬ」/「グラナダ」/「ノッテ・ステラータ（星降る夜）」（羽生結弦使用曲）  
「アヴェ・マリア」/「誰も寝てはならぬ（歌劇『トウランドット』より）」/「グランデ・アモーレ」（ブルジェンコ使用曲）他

2024.4/28(日) 2:00PM

SS 25,000円 S 21,000円 A 19,000円 B 17,000円 C 15,000円（全席指定・税込）

[お問い合わせ] キョードーインフォメーション 0570-200-888（平日・土曜11:00~18:00 ※日・祝休み）

[主催] 読売テレビ / リバティ・コンサート [共催] ザ・シンフォニーホール [後援] イタリア大使館

[企画・制作・招聘] テイト・コーポレーション [協力] ソニー・ミュージックレーベルズ

発売中

# 熱狂コンチェルト

©Hisao Suzuki

協奏曲の名曲をトップ・アーティストの演奏で味わい尽くすザ・シンフォニーホールの名物企画「熱狂コンチェルト」。

今回は現代シーンを牽引する3つの楽器の名手たちがそれぞれロマン派を代表する名曲を披露する豪華版。



「ピアノ」横山幸雄



「チェロ」横坂 源

## 郷古 廉

「ヴァイオリン」

Interview

——これまで1日に、同じ作曲家による3つの協奏曲作品を並べたり、ひとつの楽器で3大協奏曲を集めたりと、聴衆の度肝を抜くようなプログラムで常に話題を集めてきたこのシリーズ。今回は3人の人気演奏家に3つのコンチェルトをそれぞれの楽器で日本センチュリー交響楽団と演奏してもらおうという、これまでにない贅沢な趣向です。そのヴァイオリン部門をNHK交響楽団のゲスト・コンサートマスターを務める郷古さんに、ぜひお願いしたいのですが…

たいへん光栄です。センチュリーさんとは昨年10月に飯森範親さんの指揮する「若き巨匠の新世界」公演で共演させていただいて、チェロの佐藤晴真さんとブラームスの二重協奏曲で一緒にした上に、さらにコンサートマスターまでやらせてもらって最高でした。また同じステージに立てるのも嬉しいです。

——しかも演奏していただくのはブラームスが円熟期に書いた唯一のヴァイオリン協奏曲「二長調」です。言うまでもなく名曲ですし、ベートーヴェンやメンデルスゾーン作品と並んで、今も世界中で最も演奏されるヴァイオリン・コンチェルトではないでしょうか。自分が初めて弾いたのは17歳の時、小泉和裕さんが指揮する札幌交響楽団の定期演奏会だったと思います。それから何度も

折に触れて演奏していますが、弾けば弾くほどにより深いところで音楽を感じられるようになった気がします。まさに人生を通して味わっているコンチェルトです。チャイコフスキーの作品も人気がありますが、同じヴァイオリンのための協奏曲でも全く性格が違います。とても

ティーフの繋がりや構築された美しいハーモニーにある。だから聴くたびに新しい発見があるし、演奏家や指揮者によって印象が違ってくる。

——第1楽章の聴きどころは？

何と言ってもあの出だしです。あらゆるヴァイオリン・コンチェルトのなかでいちばんカッコイイのでは。先ずは素晴らしい前ぶれがあつて、一見穏やかな曲なのかと思いきや、急に嵐のようにオーケストラが鳴ったかと思つと劇的にソロが始まり、またその嵐が過ぎ去ると雲間から光が射すみたいにテーマが登場する。全体的にはドラマティックであり、独奏ヴァイオリンによる第2主題は優美。そのコントラストが素晴らしい。

——チャイコフスキー作品などと比べると、一般的には少しとつき難いところもあるような…

ブラームスってそういう作曲家なんですよね。例えば、有名な歌曲と言われてもメロディがぱっと思いつかばなかったり。決してキャッチーではないというか…本人もそれがコンプレックスだったようです。でもブラームスの魅力は細かい毛



「指揮」現田茂夫

——第2楽章は主題を奏でるオーボエが大活躍するので、主役を奪われたような心境になりませんか？

いえ、むしろ自分もすっかり魅了されています(笑)。あのオーボエソロを聴いているのは至福のひとつです。単に苦惱的だったり絶望するようなかんじではなくもっと繊細で、切なくて物悲しい。とてもブラームスらしさを感じる部分です。彼は自分の感情や考えをダイレクトに表現するのがあまり得意じゃないタイプなのでしよう。回りくどいし、自分では言わなくせに「わかつてよー」つて相手に求めてしまつたような。

——第3楽章は前楽章とは打って変

わって力強い主題が聴きどころです。ロマ(ジプシー)の音楽に魅せられて(ハンガリー舞曲集)を作ったブラームスならではの楽章。民族的で土の香りのするダンスを思わせる。非常にテクニカルな要素も求められるので、特に心して演奏します。

——やはり名曲ですね。

色彩感が豊かなセンチュリーさんにびったりな楽曲だと思います…激しさと穏やかさのコントラストが。指揮者の現田茂夫さんとは今回が初めての顔合わせになりますので、それだけに今からワクワクしています。

——ブラームスの次は、サン＝サーンスのチェロ協奏曲第1番、続いてリストのピアノ協奏曲第1番という演奏会全体の流れはいかがですか？

保守的ではあるけれども堅実で気品にあふれたサン＝サーンスを挟んで、ハーモニックにいちばん斬新なリストの作品に向かう流れで素敵だと思います。楽器も異なるしリストも3人3様で、聴衆も素直に楽しめるのではないしょうか。

——チェリストの横坂 源さんとピアノ・トリオと一緒にやられたりして、よくご存じですよ。どんな演奏家ですか？

聴き手にファンタジーを抱かせる演奏家です。すぐにはたどり着けな

いような奥の深い世界を持っている人。ただ準備してきたものを本番で披露するのではなく、彼がその場で生み出す音楽に聴衆を引き込んでいく。実はサン＝サーンスのチェロ協奏曲は、これまであまり馴染みなかったたので彼の演奏でじっくりと聴いてみたいと思います。

——ピアノリストの横山幸雄さんは前号のインタビューで郷古さんのことを「高校生の頃から演奏を聴いていて注目していた」と仰っていましたよ。

本当ですか！身に余る言葉でとても嬉しいです。横山さんとはまだちゃんとお話したことがない



©井上嘉和

「管弦楽」日本センチュリー交響楽団

「指揮」現田茂夫 「ヴァイオリン」郷古 廉 「チェロ」横坂 源  
「ピアノ」横山幸雄 「管弦楽」日本センチュリー交響楽団

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77  
サン＝サーンス：チェロ協奏曲 第1番 イ短調 op.33  
リスト：ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 s.124

2024.7/20(土) 2:00PM

全席指定 S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円 (税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中

——今後の「熱狂コンチェルト」シリーズにもどうかご期待ください。因みにもし郷古さんだったら、この企画にどんなプログラムを組まれますか？

そうですね、ちょっとマニアックかもしれませんが、もしもですが、シューマンのピアノ協奏曲「チェロ協奏曲」、ヴァイオリン協奏曲が一堂に会したら壮観で面白いのでは？

(取材・文 東端哲也)

## ライト・シンフォニックコンサート

大人の癒し  
Vol.10

Interview

[歌とトーク]

## 江原啓之

撮影：井上英祐

ザ・シンフォニーホールと大阪交響楽団がタッグを組み、大人の音楽ファンが上質なクラシックをライト(気軽)に楽しめる時間を提供する人気シリーズ。記念すべき第10回にはスピリチュアリストであり、近年はバリトン歌手としても大活躍の江原啓之が登場。柴田真郁の指揮で魅惑のオペラ・アリアを、楽しいトークと共にお届け。

——歌手としてはリサイタルなどに加えて、2022年の《ミスター・シンデレラ》(伊集院忠義役)に2023年は《源氏物語》(明石入道役)と《夕鶴》(運ず役)、そして2024年2月に新作初演となった倉本聰原作の《ニングル》(ニングルの長(おき)役と、日本の現代オペラにも存在感のある役柄で出演されています。

舞台の上で動き回る役が多かったのに、今年の「ニングルの長」は殆ど動きがなくて、演出家にも「弥勒菩薩のような佇まいでお願いします」なんて言われてたいへんでした。でも本当にフットワークは軽い方で呼ばれたらどんな役でも、例えばピンチヒッターであってもすぐに駆けつけます。3月の堺シティオペラ《ウィンザーの陽気な女房たち》も「弁士(語り)」役ですし。

——堺シティオペラといえば、柴田真郁さん指揮の大阪交響楽団に

プスまで指揮できる逸材な上に、面白いキャラクターで、楽屋でも最高なんです！きつと今回のトークでも盛り上げてくださるし素敵なコンサートになると思います。

——今回の演目はモーツァルト《フィガロの結婚》とロッシーニ《セヴィリアの理髪師》という、同じボーマルシェの戯曲を原作とする2大傑作オペラをメインにしたプログラムです。話としては《セヴィリアの理髪師》の方が先で、フィガロの活躍で

いろいろ障害を乗り越えてやっと結ばれたアルマヴィーヴァ伯爵とロジナが、後の《フィガロの結婚》では、お互いにすっかり冷め切った仲になっているというのが何とも皮肉なことです。ですから今回のトークはズバリ、この「夫婦の倦怠期」をテーマにしようかなと思って

いるのですが…あんなにも愛し合っていた二人がなぜ？みたいな、大人が深くため息をつくような内容で…後半にはヘンデルの《私を泣かせてください》もあることですし(笑)。まあ、最後には《カルメン》と「だったん人の踊り」で元気に

なってきたから、帰っていただけるようにはなっていると思うのですが。

——それにアリアとしては《フィガロの結婚》の「もう飛ぶまいぞこの蝶々」も《セヴィリアの理髪師》の《私は町のなんでも屋》にして

も、フィガロの楽天的な性格が反映された軽快で楽しい曲です。

——どちらも歌うのが久しぶりなので、ちゃんと口が回るかどうか少し心配です。特に早口言葉のような《私は町のなんでも屋》は一期、私のテーマソングのようによく歌っていたのですが、最近は体力的にも限界を感じています。しかも真郁さんはノリノリでテンポ早めですから…

——スピリチュアリストとして多忙な上に歌もトークもこなし、マエストロを推したり、機知に富んで行動的なところがまさに今もフィガロそのものです。

私は歌手としては遅咲きの…しかも狂い咲き(笑)ですし、人目をひくような存在ですので、普段あまり接する機会がない人をクラシックに繋げる「架け橋」のような役割を果たしたいといつも考えています。

そのためなら喜んで、なんでも屋にもなります。まあでも、本番までしっかりと練習して皆さんに恥ずかしくない歌唱をお届けできるように頑張ります…このところ日本語で歌うことも多かったので、ベルカント(※イタリア語の美しい歌い方を取り戻さないで。ご期待ください！

——お客さんも楽しみにしていると思います。

大阪のお客さんは反応が正直で、



よる《黒蜥蜴》(2019年)ではアター・トークを江原さんが務められたとか。

そう、上演が終わってからもお客さんを帰さなかった(笑)。実はその時に、大阪交響楽団の演奏を聴いてオペラが上手いオーケストラという印象を受けました。それにさすが声楽科出身だけあって、歌を知り尽くした真郁さんの指揮も素晴らしいかった。本人ももっとオペラが振りたいと仰っていて、それで日本オペラ協会さんに《夕鶴》の指揮者として彼を推薦したんです。

——それでは大阪交響楽団のことも、マエストロのこともよくご存じなのですね。  
真郁さんはクラシックからポッ



[指揮] 柴田真郁

©T.Tairadate

斜に構えず素直に喜んでくださるので大好きです。オペラ・デビューも関西二期会でしたし、講演会でも何でも「初めて」は大阪が多くて昔から縁があります。しかもクラシックのコンサートでザ・シンフォニーホールのステージに立つのが悲願でした。実はコロナ前まで、関西の拠点としてご近所に部屋を借りていたことがあって、自分は歩いてでも楽屋入りできるのに、どうしてあのホールで歌えないんだらうってずっと思っていたんです。その願いがやっと叶ってとても嬉しい。もちろん福島エリアのグルメにも詳しいです。ホール近くの本格派イタリアンも、駅に向かう通りの安くて美味しい居酒屋も、ちよつと離れたところにある韓国料理のお店も、みんなしよつちゅう行ってみました。今度伺った時はどちらに行こうかと今から悩んでいるところです。

(取材・文 東端哲也)



[管弦楽] 大阪交響楽団

© 飯島隆

[指揮] 柴田真郁 (大阪交響楽団ミュージックパートナー)

[歌とトーク] 江原啓之 [管弦楽] 大阪交響楽団

モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」序曲／モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」より「もう飛ぶまいぞこの蝶々」／マスネ: 歌劇「タイス」より「瞑想曲」／ロッシーニ: 歌劇「セヴィリアの理髪師」序曲／ロッシーニ: 歌劇「セヴィリアの理髪師」より「私は町のなんでも屋」／ヘンデル: 歌劇「リナルド」より「私を泣かせてください」／ビゼー: 「カルメン」組曲より「前奏曲」「間奏曲」「アラゴネーズ」「ジプシーの歌」／ボロディン: 歌劇「イーゴリ公」より「だったん人の踊り」

2024.5/18(土) 2:00PM

全席指定 SS 10,000円 S 8,000円 A 6,000円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] 公益社団法人 大阪交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

発売中

# Vol.23 DISCO ディスコ 2

年に一度のチャレンジングなステージ——まずは公演にかけての意気込みをお聞かせください。

この公演でしかできないネタに毎回挑戦するので、楽しいという枠を超えて大きなチャレンジです（笑）。でも、せっかく一年に一度のスーパープレイヤー集団との競演のチャンスですから、今回も「今夜は精鋭集団の通常の演奏会モードとは一味違うスタイルを試してみようじゃないか」という精神で挑みたいと思っています。

——8回目の共演ということですが、お互い「あうんの呼吸で行く部分もあるのではないのでしょうか。」

僕としてはあと10回、20回と共演を重ねてゆくことでさらに面白い方向に行くと思つてます。だからこそ楽しいんですね。ただ、昨年よりは今年の面白さ、ダイナミックさという点では間違いなく進化していると思えますし、きつとメンバーの皆さんも同じ思いを共有してくるからこそ、毎年僕を呼んでくださっているのだと、僕自身はそう思っています（笑）。

若き日のディスコ体験の記憶とともに

——今回のステージはDisco第二弾というテーマですが、古澤さんはまさにディスコ全盛期に学生

時代を謳歌した世代ですね。

僕は高校生までは一人で部屋にこもってヴァイオリンの練習ばかりしているような青年でした。それで、大学に入ってようやく外に出て社会のことを学びたいなと思い、毎週土曜の夜に当時、東京の新宿三丁目にあったツバキハウス（伝説のディスコ）に行つては日曜の朝の始発で帰るというのをやっていたんです。結局はその一年だけでディスコ通いはびったりとやめてしまいましたが、本当にみんな尖つていましたね、数か月で音楽も踊りもまったく変わってゆくというすさまじい世界を体験しました。今週行つてみたら、先週までやっていたスタイルで誰も踊ってない……みたいな感じなんです。

——「アースウインド＆ファイアーメドレー」「君の瞳に恋してる」などの不滅の楽曲がライン

ナップされていますがどのような期待感を抱いていますか。

今振り返つても、あのディスコ通いの一年でベストのディスコミュージックのすべてを体験したと実感しているのですが、中でも、アースウインド＆ファイアーの音楽はスゴク印象に残っています。ある日、夜中のツバキハウスに突然彼らが現れた時のインパクトは今でも鮮明に覚えています。さすがエルビスに並ぶ存在で当時世の中をアツと言わせてましたからね。でも、まさかあのスーパースターのナンバーを僕自身がステージ上で演奏する日が来るとは思っていませんでした。

——他にもどのようなラインナップをイメージしていますか？

前回公演までの流れだと、僕は毎年5月にアルバムをリリースするので、その中からリーダーの菊池さんが「これビッグバンドでやってみましょうか？」という感じで曲目を提案してくれるんです。現在アルバムのレコーディングの真っ最中なので今回どのような楽曲のラインナップを渡せるか未定なんですけど、菊池さんはディスコというタイトルに関係ない楽曲でも流れの中にしっくりいくように組み立ててくれるので、スローな作品や「ツアラトウストラはかく語りき」のあの劇的なイントロみたいな意外性のあ

[演奏]The Symphony Hall Big Band  
[スペシャル ゲスト]古澤 巖 (ヴァイオリン)

スターウォーズ メドレー／ビートルズ・メドレー／アースウインド＆ファイアー  
メドレー／君の瞳に恋してる／ザッツ・ザ・ウェイ／コンガ／コパカバーナ／ヴォーラーレ ほか

2024.6/26(水) 7:00PM

全席指定 一般 7,500円 小学生以上18歳以下 3,300円(税込)

[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

(取材:文 朝岡久美子)

# Big The Symphony Hall ザ・シンフォニーホール ビッグ・バンド

古澤 巖とスーパープレイヤーたちが贈る  
一期一会の華麗なる  
ディスコミュージックナイト



過去の公演の様子



るものも取り入れてもらえたらと思つています。あとは、やはり僕の敬愛するイタリア人作曲家のロベルト・マリーノさんから弦楽四重奏とコンチエルトが届いているので、せっかくですからビッグバンドと演奏してみたいですね。

——最後に公演を楽しみにしている方々にメッセージを。

不滅のミュージシャンたちの楽曲を演奏するステージに関われるのは音楽家として本当に光栄です。皆さんも懐かしいあの時代に再び思いを馳せつつ、この一期一会のステージを今年もぜひ楽しみにしていただきたいと思います。

スペシャルゲスト  
「ヴァイオリン」  
古澤 巖

Interview



過去の公演の様子

[指揮] 松元 宏康 [ゲスト] 横山 だいすけ  
[管弦楽] 大阪交響楽団

★…プロジェクトマッピングつき ト…ヴォーカルあり

オフエンバック 喜歌劇「天国と地獄」より「カンカン」★/日本の童謡メドレー  
/スーザ 行進曲「ワシントンポスト」/カヴァレフスキー 道化師のギャロップ/  
キッチンオーケストラ ト/スーザ 行進曲「星条旗よ永遠なれ」/勇気100% ト  
/チャイコフスキー バレエ「くるみ割り人形」より「花のワルツ」★ ほか

2024.5/6 (月・祝) 午前の部 11:00AM / 午後の部 2:00PM  
全席指定 4,000円 (税込)

※大人・子供均一料金 ※乳幼児のお子様(お膝の上でも)必ず座席券をご購入ください

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] 公益社団法人 大阪交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

発売中

大人から子供まで虜にする  
だいすけお兄さんのパフォーマンス  
オーケストラの本格的な演奏が楽しめる、0歳児から大歓迎のファミリーコンサート! NHK Eテレ「おかあさんといっしょ」第11代目歌のお兄さんを務めた横山 だいすけさんが、ゲスト出演いたします! だいすけお兄さんが歌うのは「おかあさんといっしょ」で歌われた「キッチンオーケストラ」、人気の童謡を集めた「日本の童謡メドレー」など、思わず一緒に口ずさみたくなるような楽曲がズラリ。豪華オーケストラアレンジでお聴きください!

芸人の二刀流。前回の「0歳児からのオーケストラ」ではだいすけお兄さんと楽しいトークを繰り広げ、子供たちに大人気の指揮者です。  
今回は「だいすけお兄さんと運動会に行こう」をテーマに、皆さん一度は聴いたことがある運動会の曲をお届けいたします。  
喜歌劇「天国と地獄」より「カンカン」や、「道化師のギャロップ」は運動会といったこの曲! というほど聴き馴染みのある曲ですが、改めてオーケストラの生演奏で聴けば大変魅力的な曲です。行進曲「ワシントンポスト」や行進曲「星条旗よ永遠なれ」では親子で手拍子をしたり、音楽に合わせて踊ったりしながら、みんなで一緒に楽しい時間を過ごしましょう!

また、音楽に合わせてホールいっぱい  
いに映し出されるプロジェクトマッピングの演出は、壮大なオーケストラの演奏と相まってお子様が夢中になれること間違いなしです。  
小さなお子様がいても安心  
ホールには授乳室、おむつ替え室、ベビーカー置き場を特設していますので、安心してご来場いただけます。お子様が演奏中に疲れて泣いてしまっても、もちろん大丈夫です。  
クラシック音楽から馴染みあるポピュラーなメロディまで、豊かな音楽の世界を家族みんなで楽しめるチャンス。GWの最終日、親子での思い出づくりに、ザ・シンフォニーホールへお越しください。



オルガン: 大木 麻理



音楽家の物語「海の上のピアニスト」のノスタルジックな音楽と映像にも注目したい。イタリヤを代表する映画音楽の巨匠エンニオ・モリコーネの繊細な調べが際立ったジュゼッペ・トルナトーレ監督作品「ニュー・シネマ・パラダイス」は、数多くの編曲でも親しまれてきた

名画を臨場感たっぷりのプロジェクトマッピングとオルガンで!  
この7月には、なんとでもザ・シンフォニーホールに駆け付けなければ! 毎年夏の時期開催で幅広い人気を博してきたプロジェクトマッピング×パイプオルガンのコンサートが、今夏は「超絶のタイタニック」と題し、さらにパワーアップ。ホールがこれまで以上に壮麗な空間に変貌する。  
ザ・シンフォニーホールの「顔」でもあるスイスのクーン社製のパイプオルガンは、ホール開館以来、長らく親しまれてきたが、近年はこの名器がさらなる進化を遂げている。耳だけではなく、目でも存分に楽しめるプロジェクトマッピングとの連動企画が開催され、毎回完売の大人気になっている。7月26日公演には、すでに大阪のファンにはおなじみの大木 麻理が出演。プロジェクトマッピング国際オルガンコンクールでの邦人初の

優勝後、多忙な活動を続ける名手で、公演には打楽器も参加する。プロジェクトマッピングも新作ばかりで、バージョンアップしてお届けする。  
プログラムは、多くの人の記憶に残る「あの」名画の音楽を中心に展開する。1997年に公開され、世界的に大ヒットし、今なお多くの人の心をとらえて離さないジームズ・キャメロン監督の映画「タイタニック」だ。美しい令嬢ローズと画家志望の青年ジャックが偶然乗り合わせた豪華客船タイタニック。氷河に激突して沈没してしまっただけで、種々の人間ドラマが繰り広げられる。映画を彩る名曲「My Heart Will Go On」が新たな編曲で登場。臨場感たっぷりが、もちろん「沈没」しないのでご安心を!  
そしてキャメロン監督の映画「ターミネーター」のヒットテーマ、豪華客船で生まれて生涯を船で過ごした

[オルガン] 大木 麻理

「ターミネーター」~「メイン・テーマ」/「ミッション・インポッシブル」~「メイン・テーマ」/「タイタニック」~「My Heart Will Go On」/「ニュー・シネマ・パラダイス」セレクション/「海の上のピアニスト」~「愛を奏でて」/「ゴジラ」~「メイン・テーマ」/「銀河鉄道999」~「A journey to the stars」/「宇宙戦艦ヤマト」~「宇宙戦艦ヤマト」

2024.7/26 (金) 7:00PM ※休憩なし。約60分間のコンサートです。

全席指定 3,000円 (税込) ※4歳以上のお子様からご入場可能です。

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

が、楽器の王様でもあるパイプオルガンの多彩な響きと色彩の饗宴はまた違った感動を呼び起こすにちがいない。  
そしてお待ちかね 邦画ファンにもうれしい選曲である。伊福部昭による「度聴いたら忘れられない懐かしい主題」による映画「ゴジラ」、そして昨年亡くなった松本零士原作の「銀河鉄道999」など、世代を超えて愛されてきた名曲が、オルガンの芳醇な音色とともによみがえる。  
真夏の大阪は本当に暑く、2024年も酷暑になりそうだが、今年こそ、涼やかなホールで、普段とは一味ちがう避暑を満喫してはいかが?  
(文 伊藤 制子)

# 山形交響楽団特別演奏会 さくらんぼコンサート

映像配信  
のご案内クラシック専門  
ライブストリーミング  
プラットフォーム  
「CURTAIN CALL」山形交響楽団公式  
YouTube  
チャンネル©Kazuhiko Suzuki  
[指揮] 阪 哲朗©Makoto Kamiya  
[ヴァイオリン] 辻 彩奈©Seiji Okumiyama  
[チェロ] 上野 通明

[ソプラノ] 老田 裕子

[アルト] 在原 泉

[テノール] 鏡 貴之

[バリトン] 井上 雅人

山形交響楽団

びわ湖ホール声楽アンサンブル

山響アマデウスコア

パナソニック合唱団

演奏会後半には、ヴァイオリンの辻 彩奈とチェロの上野 通明が登場し、ブラームスのヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲が演奏される。辻はモントリオール国際音楽コンクール、上野はジュネーヴ国際音楽コンクールで、世界から注目された優勝者コンビ。若い世代を代表する二人のソリストは、阪 & 山響とともに弦楽器の魅力を満喫させてくれるに違いない。

[指揮] 阪 哲朗 [ヴァイオリン] 辻 彩奈 [チェロ] 上野 通明 [ソプラノ] 老田 裕子  
[アルト] 在原 泉 [テノール] 鏡 貴之 [バリトン] 井上 雅人 [管弦楽] 山形交響楽団  
[合唱] 山響アマデウスコア、びわ湖ホール声楽アンサンブル、パナソニック合唱団

モーツァルト: 歌劇「魔笛」K.620 序曲、ミサ曲 ハ長調「戴冠式ミサ」K.317  
ニキシュ: ファンタジー(オペラ「ゼッキンゲンのトランペット吹き」のモチーフによる)  
ブラームス: ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 op.102

2024.6/21 (金) 7:00PM

全席指定 S 6,000円 A 5,000円 B 3,000円 (税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 / 山響チケットサービス 023-616-6607

[主催] 公益社団法人 山形交響楽協会 / ザ・シンフォニーホール

発売中

阪 哲朗 & 山響が3つの合唱団と「戴冠式ミサ曲」を祝祭的に奏でる！

阪 哲朗 & 山形交響楽団の快進撃が続いている。ヨーロッパの歌劇場で要職を歴任した阪が山形で始めた「演奏会形式オペラシリーズ」が大成功を収め、ベートーヴェン・ツィクルスが好評を博している。そんな阪 & 山響のコンビが、恒例の「さくらんぼコンサート」に登場し、阪にとっても山響にとっても十八番といえるモーツァルトを取り上げる。しかも今年は、山形が誇る合唱団、山響アマデウスコア、阪が芸術監督を務めるびわ湖ホールの専属合唱団、びわ湖ホール声楽アンサンブル、そして地元大阪のパナソニック合唱団が参加し、「戴冠式ミサ曲」を上演。オペラや声楽曲を得意とする阪の指揮のもと、祝祭的な演奏が繰り広げられることだろう。

[指揮] 現田 茂夫

## Shion Osaka Shion Wind Orchestra 第154回定期演奏会

©Koichi Miura

© 飯島隆

「吹奏楽×ブラスバンド」のクロスオーバーの高い3名の作曲家の作品をお送りいたします。

「吹奏楽×ブラスバンド」のクロスオーバー、多様な吹奏楽という分野において、ブラスバンドと関係の深い作品群は非常に魅力的なレパートリーです。2023年4月以来の現田茂夫との再演も素晴らしいものとなるでしょう。

[指揮] 現田 茂夫  
[吹奏楽] Osaka Shion Wind Orchestra

ポール・ロバート・クーバー: ファイアー・イン・ザ・ブラッド / エリック・ボール: 交響詩「復活」 / ビーター・グレイム・ハリソン: 夢 / ヘルム・アッペルモント: プリュッセル・レクイエム / ヤン・ヴァンデルロースト: カンタベリー・コラール / フィリップ・スパーク: ドラゴンの年 [2017年版]

2024.4/27 (土) 2:00PM

全席指定 S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 (税込)

[お問い合わせ] Shionチケットセンター フリーコール: 0800-919-5508 (平日10:00~17:30)

[主催] 公益社団法人 大阪市音楽団

発売中

「吹奏楽×ブラスバンド」クロスオーバー

吹奏楽とブラスバンドは密接な関係にあり、特にヨーロッパで活躍する作曲家は、吹奏楽作品を作曲する際、ブラスバンド編成での楽譜を同時に作ることがよくあります。2000年前よりイギリスを発祥として急速に発展していったブラスバンドですが、今では世界中に広まり、日本でもブラスバンドの演奏団体は増加しています。

日本で盛んな吹奏楽の起源は軍楽隊にありますが、イギリスでは救世軍という、キリスト教の伝道を目的として活動する団体が募金活動のために小規模のバンドで演奏していたことが始まりとされています。

今回の前半のプログラムは、救世軍で活動していた作曲家、またはそれに影響を受けた作曲家たちの作品を、後半では世界中に発展を遂げたブラスバンドの世界で活躍する作曲家、特に吹奏楽の世界でも人気の高い3名の作曲家の作品をお送りいたします。

# TheSymphonyHall × 関西4オケ *Pick Up* コンサート

## 日本センチュリー交響楽団

## 日本センチュリー交響楽団 第281回定期演奏会



管弦楽 日本センチュリー交響楽団

© 井上嘉和



指揮 秋山和慶

© 堀田力丸

[指揮]秋山和慶 [ピアノ]小林愛実  
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

レズニチェク：歌劇「ドンナ・ディアナ」序曲  
ラフマニノフ：バガニーニの主題による狂詩曲 op.43  
デュティユー：交響曲 第1番

2024.4/12 (金) 7:00PM

全席指定 S 8,000円 (サイン入りプログラム付き)  
A 6,500円 B 5,000円 C 3,500円 D 2,000円

[お問い合わせ]センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311

[主催]公益財団法人 日本センチュリー交響楽団

発売中



ピアノ 小林愛実

© Makoto Nakagawa

秋山和慶ミュージックアドバイザーのタクトで華やかに新シーズン開幕！  
レズニチェクのオペラ「ドンナ・ディアナ」の快活な序曲、デュティユー交響曲第1番の色彩豊かなシンフォニーに初挑戦します。ソリストにはショパン国際ピアノコンクール第4位受賞後、改めて世界中から引く手あまたの存在となり、公私ともに充実した多忙な日々を送る小林愛実が希望の登場。煌びやかで超絶技巧溢れるラフマニノフを共演します。  
春爛漫・センチュリーがお届けする色とりどりの音楽を、どうぞお楽しみください！

## 大阪フィルハーモニー交響楽団

## シンフォニストの理想を求めて ～モーツァルトとブルックナー I



管弦楽 大阪フィルハーモニー交響楽団

[指揮]尾高忠明  
[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

モーツァルト：交響曲 第39番 変ホ長調 K.543  
ブルックナー：交響曲 第0番 二短調 (ノヴァーク版)

2024.6/13 (木) 7:00PM

全席指定 A 6,000円 B 4,500円 C 3,500円

[お問い合わせ]大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

[主催]公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会 / ザ・シンフォニーホール

先行発売：3/21 (木) 一般発売：3/27 (水)

※大阪フィル・チケットセンターでは3/19 (火) より先行販売、3/26 (火) より一般販売。



指揮 尾高忠明

© Martin Richardson

今年生誕200年を迎える作曲家、アントン・ブルックナー。オーストリアの小村に生まれ、教会のオルガンを弾きながら音楽と神への愛を胸に生涯を送りました。遅咲きの作曲家であり、50歳を過ぎてからようやく作曲家として知られるようになったブルックナーの若き日の作品は演奏される機会がほとんどありませんがブルックナー作品の全容を知る上で、初期の作品は重要で、ブルックナーをレパートリーの中心に据える大阪フィルとしては欠かすことが出来ません。今回はブルックナーと同郷の先人・モーツァルトの交響曲と組み合わせる演奏。オーストリアの美しい自然の中で育った二人の天才の世界をお楽しみください。

## 大阪交響楽団

## 第271回定期演奏会 「外山雄三追悼」



管弦楽 大阪交響楽団

© 飯島隆



指揮 山下一史 (常任指揮者)

© ai ueda

[指揮]山下一史 (常任指揮者)

[ヴァイオリン]森下幸路 (首席ソロコンサートマスター) [管弦楽]大阪交響楽団

外山雄三：管弦楽のためのディヴェルティメント (1961)  
ヴァイオリン協奏曲 第2番 (1966)  
バレエ「幽玄」演奏会用組曲 (1965)  
交響曲「帰国」 (1965)

2024.4/26 (金) 7:00PM

全席指定 S 6,500円 A 5,500円 B 4,000円 C 2,500円 オルガン 2,000円

[お問い合わせ]大阪交響楽団チケットセンター 072-226-5522

[主催]公益社団法人 大阪交響楽団 [特別協賛]大和ハウス工業株式会社

発売中



ヴァイオリン 森下幸路

© mick park

2023年夏、92歳で永逝した大阪交響楽団名誉指揮者の外山雄三を偲び、氏の音楽遺産による追悼公演を開催いたします。「管弦楽のためのディヴェルティメント」をはじめ、野趣に富む「ヴァイオリン協奏曲 第2番」(首席ソロコンサートマスター 森下幸路の独奏)、能「羽衣」に基づくバレエ「幽玄」の演奏会用組曲、モダン・ステイックな交響曲「帰国」という、外山30代の旺盛たる4作品。これらの曲には、ドン・パニョー、こざりこ節、南部牛追唄など日本人の琴線に触れる引用があり、氏特有の作曲様式に貫かれたものとなっています。常任指揮者 山下一史のタクトによる渾身の演奏をどうぞお聴きください。

## 関西フィルハーモニー管弦楽団

## 関西フィルハーモニー管弦楽団 第346回定期演奏会



管弦楽 関西フィルハーモニー管弦楽団

© s.yamamoto



指揮 フェリックス・ミルデンベルガー

© Jasper Ehrlich

[指揮]フェリックス・ミルデンベルガー [ピアノ]仲道郁代  
[管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団

メンデルスゾーン：序曲「フィンガルの洞窟」 op.26  
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 op.73 「皇帝」  
フランク：交響曲 二短調

2024.5/17 (金) 7:00PM

全席指定 S 6,500円 A 5,000円 B 3,500円 C 2,500円  
学生席 (25歳以下) 1,000円 ※学生席は関西フィル事務局のみ取扱い

[お問い合わせ]関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911

[主催]公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団

[特別協賛]タイキン工業株式会社 [協賛]小野薬品工業株式会社

発売中



ピアノ 仲道郁代

© Taku Miyamoto

『魂の救済：重厚で芳醇なフランク & ベートーヴェン、皇帝』と銘打った関西フィル第346回定期演奏会。開幕を告げるのは、音の風景画家メンデルスゾーンによる珠玉の逸品《フィンガルの洞窟》。ゲストの仲道郁代は円熟のピアノ・リズムで堂々たる《皇帝》協奏曲を披露いたします。充実のベテランが温かく包み込むベートーヴェン永遠の名作にどうぞご期待ください。そしてメインを飾るのは、心に染み入る敬虔な歌とデモニッシュな魅力にあふれた傑作。フランクが唯一残した荘厳なシンフォニーを期待のミルデンベルガーが壮大に描き切ります。